



## メールの添付ファイルには要注意！

### 登場人物

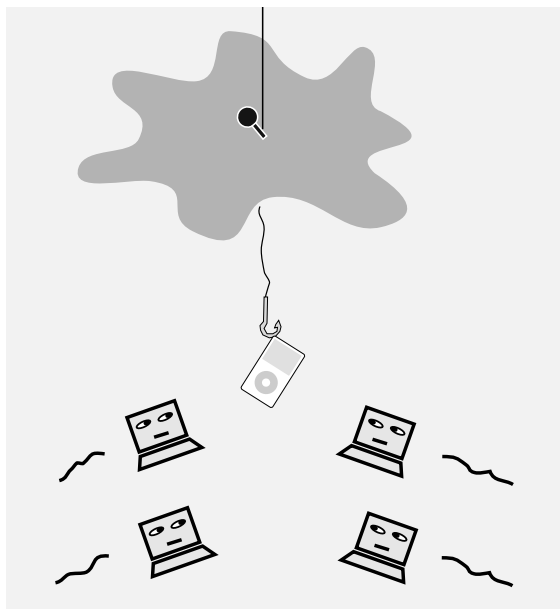
薬学部の大学生:舞  大学の先輩:大輔  薬局の主人:修一郎  料理店の親父:通称“仙人” 

### 【前回までのあらすじ】

メールも医薬情報提供サイトのSPNも使えるようになり、かなり便利になった。が、なんだか最近パソコンの調子がおかしい。修一郎は、舞にヘルプを求めたが・・・

インターネットのニュースサイトを見ていた修一郎の目に、iPodの新製品の記事が止まった。今持っているCDプレーヤーはもうかなり古い。そろそろ買い替えようと思っていた。

ニュースサイトのリンクからアップルストアに行き、値段を見てみると予算よりかなり高めだ。半ばあきらめて、他のサイトを眺めていると、『簡単なアンケートに答えるだけで、抽選で100名にiPodが当たる』というコピーが目に入った。昔、雑誌の懸賞で腕時計を当てたことがあった修一郎は、くじ運には自信を持っている。よし、早速応募だ！



サイトを開くと、職業、年齢や食べ物の嗜好、読んでいる新聞、雑誌などの問いがあった。最後に、住所、氏名、電話番号、メールアドレスなどを書きこむようになっていた。修一郎は、何の疑いも持たずに、空欄を埋めると申し込みのボタンを押した。すっかりiPodを手に入れたような気分になって結果を心待ちにしていた。

アンケートの公表の日を過ぎても、何も送られてこない。念のため、もう一度アクセスしてみたが、『サイトが見つかりません』というメッセージが出てくるだけだった。

「残念。当たらなかったかぁ」

数日後・・・。見たことも聞いたこともないアドレスからおかしなメールが送られてくるようになった。

『簡単な仕事で月収100万円をゲットしよう！』  
『ギャル満載、ネットで新しい出会いを！』  
『激安ソフト、ワードやエクセルが5000円ポッキリ！』  
『バイアグラ売ります』

その中に、『Don't read me!』と書かれたファイルが添付されたメールがあった。見るなど言われると見たくするのが人情だ。修一郎はそのファイルを開いてみた。一瞬、マウスポインタが勝手に動いたが何にも起らなかった。単なるいたず

らかと思って放っておいた。

そこへ、舞がやってきた。

「おはようございマース」

「おはよう。早速なんだが、実は最近変なメールが来て困ってるんだよ」

「見せてください。ああ、これはひどいですね。スパムメールと言うやつですよ」

「何だね。そのスパムって言うのは」

「一方的に送られてくる迷惑メールのことを言うんです」

「何でスパムと言うのかね」

「ん～。そういうときは、Googleで検索するとわかりますよ」

修一郎は、“スパムメール”を検索してみた。

「出てきたよ。どれどれ。ふ～ん。そう言うことだったんだ」

「一人で納得しないで教えてくださいよ」

「モンティパイソンに関係しているらしいね」

「何ですか。モンティパイソンって」

「10年以上前に流行った海外のコメディ番組だよ。その中で、スパムという名前の缶詰を“スパム、スパム”と連呼しながら一方的に投げつけるシーンがあって、それからきているそうだよ」

「そうだったんですか」

「舞ちゃんも知らなかったんだね」

「そんな古いことは知りませんよ～」

「でも、スパムには困ったものだなあ」

「おじさん、ネットで何かやりませんでした？ エッチなサイトを見たりとか」

「大輔じゃあるまいし、そんなことはやらんよ。そういや、iPodが当たるというアンケートをやったんだ」

「どこのサイトですか？」

「それが、もう閉鎖されているんだ」

「怪しいですね。その時、メールアドレスを入れませんでした？」

「入れたよ」

「原因は、それかもしれませんよ。たぶん、アンケートを装って個人情報が盗まれて、それがどこかに流出したんです。インターネットには、そういう罠がいっぱいあるんです。身元のはっきりしないサイトには気を付けてくださいね、って言ったじゃないですか。一度、メールアドレスが漏れてしまうと、簡単にはスパムメールは止まりませんよ」

と言っているうちに、マウスの動きが、またおかしくなった。ブロードバンドルータのランプを見ると激しく点滅しだした。

「おじさん、何だか、パソコンの様子がおかしいですね」

「さっきもこんなことがあったが、すぐに直るから大丈夫だよ」

しばらくすると、嵐のような点滅が止んで何も無かったように静かになった。

すると、舞のケータイに大輔から電話が入った。

「もしもし、大輔だけど、おじさんのパソコンから大量にメールが送られてきているんだけど何かあった？！」

「ええっ?! どんなメール？」

「薬局の売上が入ったエクセルのシートのようなものが添付されているよ！」

しばらくすると、SPNを紹介してくれた修一郎の友人からも大輔と同じような電話が入った。電話を切ると、今度は、お得意様から電話が入った。次々に、迷惑メールのクレームが入ってきた。パソコンは特に問題はないようだが、何が原因かわからない。もう舞の手には負えなくなっていた。こんなときは魚心に行きたくはない。

「おじさん、ちょっとごめんなさい。仙人に聞いてきます」

.....

仙人は、相変わらず黙って魚を焼いていた。

「舞ちゃん、久しぶりだね。薬局のパソコンの調子はどうだい？」

「お陰様でインターネットには簡単に繋がったんです。でも、大変なことが起っていて…。実はそのことで相談に来たんです」

舞は、今日起こったことを仙人に話した。話が終わらないうちに仙人の顔色が変わっていった。

「舞ちゃん、薬局に電話してすぐにパソコンのLANケーブルを抜いて、電源を切るように指示してくれ」

「はっ、はい。」

舞はケータイを取りだしすぐに薬局に電話した。

『おじさん、すぐにLANケーブルを抜いてください』

『LANケーブル？』

『ピカピカ点滅してるお弁当箱型の機械がありますよね？そこからパソコンとつながってる線を抜いてください』

『ああ、これかこれか』

電話をしている舞の横で仙人が話を続けた。

「舞ちゃん、薬局のパソコンがおかしくなったのはウイルスのせいだよ。しかも、感染力の強い悪質なやつだ。放っておいたら、パソコンの中の重要な書類が、世界中にばらまかれてしまうよ」

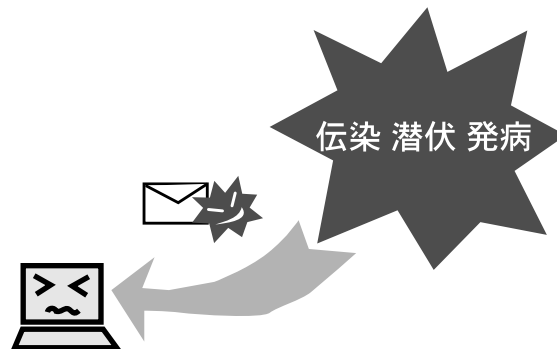
「昔は、勝手に音楽を演奏したり異常なメッセージを表示したりする子どもだましのようなウイルスが多かったんだが、最近は、もっと巧妙で実被害が出るものが多くなったからなあ。薬局のパソコンに感染したのは、機密情報を暴露するタイプのものだろうな・・・」

「薬局のパソコンは、何も無かったように動いてたのに・・・」

「それは、ウイルス特有の潜伏期間だよ。それがあるから見つかりにくいんだ。一般的にウイルスは、伝染、潜伏、発病を繰り返しながら広まっ

ていくんだ」

「潜伏期間ですか？インフルエンザのウイルスと同じような挙動ですね」



「そうか、舞ちゃんは薬学部だったね。対策には、ウイルスの感染経路を調べる必要があるよ」

「最近、薬局のパソコンにスパムメールがすごいです。そこから感染したのでしょうか？」

「メールを閲覧しただけでうつるものもあるが、このウイルスは、何かアクションをしないと感染しないタイプのものだよ」

「じゃあ、誰かが何かやったんですね」

「その可能性が高いね」

「どうすればいいんでしょうか？」

「ワクチンソフトは入っているの？」

「聞いてみます」

舞はケータイを手に取った。

『おじさん、ウイルスが感染したみたいなんですけど、心当たりありませんか？』

『実は、舞ちゃんには言わなかったけれど、変なメールの中に“Don't read me!”という添付ファイルがあったんで、興味本位で開いてしまったんだ。でも何にも起らなかったからそのままにしておいたんだ』

『そうですか。ワクチンソフトは入っていますか？』

『パソコンを買ったときにウイルスなんかかっていうのがあったような・・・』

『わかりました』

舞はいったんケータイを切って、その内容を仙人に報告した。

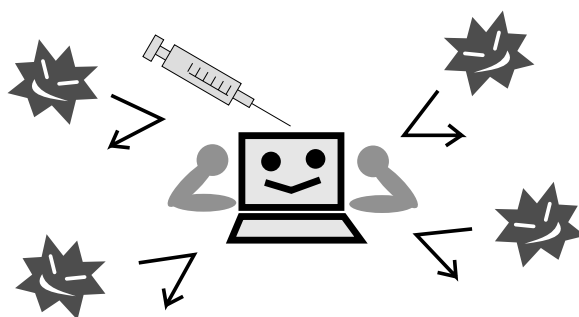
「初心者が陥りがちな典型的なウイルス感染のパターンだな。古いワクチンは、最新のウイルスには全く効果が無いんだ。インフルエンザのワクチンも、その年の流行型に合わせて打つだろう？ 今回の感染経路がメールの添付ファイルだということがはっきりしたからな。じゃあ舞ちゃん、これで解決してくれ」

仙人は、ワクチンソフトを最新にする方法とメール取り扱いの心得が書かれたメモを舞に渡した。

.....

舞は薬局に帰るなり、メモの指示に従ってパソコンのワクチンソフトを最新のものにした。ウイルス会社のホームページから最新のウイルス定義ファイルがダウンロードできる設定も追加した。

最新のワクチンソフトを使ってウイルスを駆除するとパソコンのおかしな挙動は嘘のように治まった。



「ふう～」

「舞ちゃん、ありがとう。どうやら平和になったようだね。これからは気をつけるよ」

「いえ。ワクチンが古いということに気が付かなかった私も悪いんです。念のために、仙人から頂いた心得を貼っておきます。」

「それからおじさん、今後は住所やメールアドレスなどの個人情報の書き込みにはくれぐれも注意してくださいね！！」

次回に続く・・・

## 添付ファイル付きメール取り扱いの心得五か条

### 一、見知らぬ相手先から届いたメールに注意すべし

添付ファイルは絶対に開かないこと。さっさと捨てる

### 二、添付ファイルのアイコンや名前に惑わされるべからず

安易に添付ファイルを開いてはならない。まず疑ってかかり、怪しいと思ったら捨てる

### 三、知り合いからのメールも疑ってかかるべし

知り合いからのメールでも件名が文字化けしているような変なメールは疑ってかかる

### 四、添付ファイルの自動展開はするべからず

添付ファイルを自動的に展開しないように設定しておく

### 五、発信時も気をつけよ

自分が発信するとき、メールの本文に書けるようなものを無闇に添付しない